

“金沢に全部持って行かれてくやしいです！！”
石川県加賀市の嫉妬心が全開
前代未聞の新幹線誘致プロジェクト
“東京2023加賀”発足

プロジェクトムービー「加賀市新幹線対策室 Season1」
8月28日(月)より公開

URL : <http://www.tokyo2023kaga.jp>

石川県加賀市（市長：宮元 陸）は、2023年に控える北陸新幹線の延伸に伴って、同市加賀温泉駅への新駅誘致をはかるべく、加賀市新幹線対策室を設置。市役所・市民が一丸となって取り組む新幹線誘致プロジェクト“東京2023加賀”を発足いたしました。本プロジェクトの発足に伴い、この新幹線対策室を舞台にしたプロジェクトムービー「加賀市新幹線対策室 Season1」を8月28日(月)よりWEBサイト（URL：<http://www.tokyo2023kaga.jp>）にて公開します。



加賀温泉駅は北陸新幹線の停車候補駅です。©TOMY 「プラレール」は株式会社タカラトミーの登録商標です。



2015年3月に東京～金沢を結ぶ形で開通した北陸新幹線は、2046年の全線開業（東京～北陸～大阪）に先立ち、2023年に現在の発着点金沢駅から福井県敦賀駅までの延伸を予定しております。この延伸区間の中間停車駅の候補となっている加賀温泉駅への新幹線誘致は、新幹線構想の発足以来、加賀市にとって悲願とも言えるものであり、先行して北陸新幹線開通の栄誉を勝ち取った県庁所在地金沢市の発展を横目に、市役所職員・市民が“次こそは”と思いを募らせる日々でした。

今回のプロジェクトは、延伸区間の正式決定ならびに中間停車駅の最終検討段階に入ったことを受けて、悲願達成にむけて市役所・市民一丸となって、北陸新幹線新駅としての加賀市の魅力を県内外にアピールするために発足したものです。

◎“金沢なんかに負けないぞ！”

随所に羨望と嫉妬心をあらわしたプロジェクトムービー「加賀市新幹線対策室 Season1」

プロジェクトの発足に伴い、発足日である8月28日よりドラマ仕立てのプロジェクトムービー「加賀市新幹線対策室 Season1」全4篇を公開いたします。

本ムービーは、加賀市新幹線対策室を舞台に、熱血室長「加賀停太郎」をリーダーとした所属メンバー一同が、新幹線停車駅誘致に全力を尽くす、ドキュメンタリータッチのドラマムービーです。

ムービーの撮影には加賀市のPRユニットLADY KAGA（レディー・カガ）や加賀市役所の職員、加賀市民ら総勢約50名がキャストとして参加。随所に先行して新幹線が開通し、観光都市として大きな発展を遂げる金沢への羨望と嫉妬心、そして何としても“加賀温泉駅に北陸新幹線を”という市民の暑く、切実な思いが込められたムービーとなりました。



“金沢なんかに負けないぞ！”と拳をかける市役所職員



加賀市のPRユニットレディー・カガも登場

◎人気スポット「加賀市中央公園」をはじめ、加賀市内の名所&迷所も続々登場！

全4篇からなるムービー内には、ロケ地として協力いただいた加賀市内の様々なスポットも随所に登場しております。独特な世界観で“パラダイス”とも称される人気スポット「加賀市中央公園」や、日本海の大パノラマを楽しめるか景勝地「加佐ノ岬」、加賀温泉郷の名旅館等、加賀市の様々な名所&迷所を舞台に繰り広げられるドラマを是非お楽しみください。



“パラダイス”「加賀市中央公園」を訪れる新幹線対策室一行



景勝地「加佐ノ岬」を訪れる新幹線対策室一行

◎プロジェクトムービー制作秘話

加賀停太郎役の横田栄司さん以外のキャストは全て加賀市民。撮影当初は、ごちなく何度もテイクを重ねていたが、横田栄司さんの迫力ある演技に引っ張られ、加賀市民たちも徐々に役者の顔つきに。横田さんや監督が驚くほど演技の上達が見られました。加賀市民の演技力や表情もお楽しみください。

◎プロジェクトムービー「加賀市新幹線対策室 Season1」概要

タイトル：「加賀市新幹線対策室 Season1」全4篇

Youtubeチャンネル：https://www.youtube.com/channel/UCnjplgkEs1_rnhRFESpJGA

公開日：2017年8月28日

出演者：横田栄司、加賀市民

制作主体：石川県加賀市

制作プロダクション：

広告会社 株式会社電通、株式会社ドリル

制作会社 株式会社 ギークピクチャーズ

クリエイティブディレクター 田母神龍

プランナー／プロデューサー 吉田翔彦

アートディレクター 各務将成

PR 村木みちる

プロデューサー 小澤祐治

プロダクションマネージャー 中嶋励

ディレクター 佐藤渉

カメラマン 田中智仁

スタイリスト 匂坂真人

音楽 緑川徹

オフライン 前田憲彦

グラフィックカメラマン 吉濱篤志

現地プロダクション 株式会社フィックス



【活動報告1】加賀市観光協会が地元のPRに頭を悩ませている中、突然ひとりの男が登場する。

<https://youtu.be/D05nij57bfU>



【活動報告2】加賀市新幹線対策室が動き始め、新幹線招致に向けた作戦会議を行う。そこで女将が思いついた名案とは？

<https://youtu.be/MpLJ03crK2M>



【活動報告3】加賀の魅力な観光スポットを求めて、加賀市中央公園を訪れるが...

<https://youtu.be/PpMMnKPRiE>



【活動報告4】アイデアが煮詰まってきた新幹線対策室だが、1つの強いアイデアにたどり着く。Season1感動の最終章。

https://youtu.be/olHI_t48CxQ

“東京2023加賀”プロジェクトについて

東京2023加賀”というプロジェクト名は、新幹線の開業予定年である2023年に東京と加賀が北陸新幹線で繋がるという願いを込めて名付けられました。また、石川県内で先行して新幹線が開通している金沢市への敬意を込めつつ、「金沢みたいになりたい」をサブコンセプトとして設定。観光都市として大きな発展を遂げる金沢市に続くべく、加賀市ならではの魅力を訴求していきたいと考えています。

◎世界で一つ、伝統工芸品である九谷焼でSTOPロゴを制作

加賀市の伝統工芸品である九谷焼の皿の上に、道路標識に見立てたSTOPのロゴを配置したオリジナルロゴマークを制定。加賀九谷陶磁器協同組合の監修のもと、実際の九谷焼皿として制作されました。この九谷焼皿ロゴは、2017年9月より加賀市役所内に掲出いたします。



◎北陸新幹線開通を“記念”ならぬ“祈念”！北陸新幹線開通祈念式



プロジェクト発足にあたり、加賀市に新幹線が停車することを“祈念”するイベント～加賀温泉駅北陸新幹線開通“祈念”式を8月28日(月)に開催。“祈念”式当日は、全国公開に先駆けてプロジェクトムービーをお披露目。

加賀市長は「本来、加賀市は非常に魅力的な地域ではあるが、動画では、少し自虐的に表現。金沢市さんへの十分な敬意に加え、少しの羨ましさ、対抗心も込められている。」とコメント。また

「5年半後の北陸新幹線延伸の際には、全便が加賀温泉駅に停車されるよう祈念し、そのための取り組みを、加賀市をあげて全力で進めてゆきたい」と加賀温泉駅への新幹線誘致の意気込みを語りました。

その他、今後の進捗や新たな展開等は、プロジェクトサイトを通じて発信予定です。

東京2023加賀プロジェクトWEBサイト: <http://www.tokyo2023kaga.jp>